

みんなの「なんなの？」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)

信毎こども記者ニュース

発行/信毎こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南東町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.25

ゲーム作りを体験取材

信毎こどもスクール

こども記者レポート

展示発表



ギネス認定証!

START

会場には、岩谷さんが持ってきてくれたパックマングッズや東京工芸大学の学生が作ったゲーム、松本工業高校電子工学クラブのマイコンカーなどがズラリ。



岩谷先生のお話

ゲームも遊びも勉強も

小坂倭士記者(須坂市3年)

パックマンを作った東京工芸大学の岩谷徹先生のお話を聞きました。初めての記者だったのでドキドキしました。でも、もらったメモ帳に先生が言ったことをどンドン書いていきました。ゲームを作るには、人を喜ばせたいという気持ちが大切だそうです。お母さんにいつも、「ゲームばかりやってはいけないよ」とおこられていたけれど、ゲームを作るには、音楽や算数、読書や絵をかくことなど、いろいろなことが必要だと分かりました。

先生は、たくさん体験しなさいと言いました。ゲームも外遊びも勉強もバランスよくやって、地球のうらがわまで届くようなスゴイ大人になりたいです。

体験教室B 電子回路の工作をしよう



みんなが作ったゲーム機はこれ。信濃の国が流れたり、光キャッチなど9つのゲームを楽しめるんだ



体験教室A カードゲームを作ろう

電子工学クラブ入りたい

葉山幸奈記者(松本市6年)

一番印刷しように残ったのが、電子回路を使ったゲーム作りです。全部で9種類のゲームなどができます。はんだごてを使つて、はんだをとこしてのりの代わりとして利用します。私は科学のような、物をつくるのが大好きなので、とっても楽しかったです。はんだごてを使つていてやけどをしそうになりました。はんだごては200度以上

工夫でより楽しく

野口航太郎記者(長野市6年)



カードゲームを作つて遊びました。最初に1〜5の数字を1つずつ、紙に書きま

す。対戦相手と1枚ずつ紙を出して、数が多かった方に1ポイント、3ポイント先取したら勝ちです。

次にルールを変えてやりました。5枚の紙に書いた数の合計が15になるように工夫しました。そうしたら、最初より楽しくなりました。相手の出してくるカードを予想して、作戦を考へて出すと勝つことができました。ルールを難しくしたほうが楽しくできるのだと思いました。

学校で友達と一緒にアイディアがたくさん出てきて楽しいと思うので、実行してみたいです。



第8回信毎こどもスクール「パックマンの先生とゲームを作ろう」遊ぼうデーが6月19日、松本市の富士電機健康保険総合体育館で開かれました。こども記者たちはビデオゲーム「パックマン」を考えた岩谷徹さん(56)に東京工芸大学芸術学部ゲーム学科教授のお話を聞いたり、2つの体験教室でゲーム作りを楽しんだりしながら取材しました。



6月26日のこども新聞スペシャルでも4人のこども記者が報告してるよ!